

★6年生「安全な社会をつくるための自動車の在り方を考えよう」特集★

No.6でもお伝えしたように、6年生は「安全な社会をつくるための自動車の在り方を考えよう」という学習を進めています。

今回は、BOSCHの方々をお招きして行った発表と、改善を踏まえBOSCHに赴いて行ったプレゼンテーションの様子をお伝えします。

2月27日(月)6校時に、BOSCHのシステムズエンジニアリング&技術戦略部からお二人をお招きし、現時点での自動車の課題を解決するためにグループで考えた策を発表しました。



このときに、以下のように助言をいただきました。

- ◎上手なプレゼンテーション
 - ◎発想 ◎豊富なアイデア
 - 飛べる車の優先順位は？
 - すれ違う車同士の通信手段は？
 - 命令で運転切替でもよいが勝手に運転切替してくれるとよい
- 6年生の提案をさらにブラッシュアップするためのヒントとなりました。



3月8日(水)5校時に、BOSCH渋谷本社に伺いました。いただいたアドバイスを基に改善を重ねてできた新たな提案をプレゼンテーションしました。



プレゼンテーションには14人の方と副社長が参加してくださり、同時に配信していたオンライン上でもたくさんの方が見てくださいました。子供たちは緊張した面持ちでしたが、前回の指摘を踏まえ改善した箇所への助言や発表に対するあたたかいお褒めの言葉をいただきました。「問題点(マイナス)への対処と、今の車にプラスの付加価値をつける視点がおもしろい」と好評で「多言語の発表素晴らしい!ぜひ勉強を続けてBOSCHへ!」と、和気あいあいとした雰囲気でした。「頭を使って考えたことが生きてくる。今回の機会を誇りに思ってください。考えることは、一番大切なこと。」というお言葉が、印象に残っています。学習に際して多大なる御協力をいただき、子どもたちにとって貴重な経験となったことは間違いのないでしょう。この経験を、中学校でも生かしてほしいと思います。